



# J 第1回 定期演奏会

Japan Traditional Orchestra

〈日テレドラマ〉リバーサルオーケストラや吉本興業所属のお笑いコンビ「メンバー」のオーケストラライブなどを演じてきたオーケストラのステージコンサートが遂に開幕！

2024  
**12/3 TUE.**  
開場 18:15 開演 19:00  
**みなとみらい大ホール**

●みなとみらい駅【東急東横線 みなとみらい線】徒歩3分  
●桜木町駅【JR京浜東北線 横浜駅西口地下鉄】徒歩12分



〒220-0012 神奈川県横浜市中区みなとみらい2-111-6 みなとみらい駅南詰

## 東儀 秀樹ソロによるオンステージ

編曲 中村匡寿 [世界初演]

越天楽 オーケストラ新編曲版

興津諒 [世界初演]

ピアノとオーケストラの為の協奏交響詩「葡萄畑にて」ホ長調

A.ドヴォルザーク

交響曲第9番ホ短調「新世界より」op.95

## 出演



指揮  
**中島 章博**



コンサートマスター  
**石田 泰尚**

東儀 秀樹(邦楽ステージ ソリスト)

平沢 匡朗(ピアノ ソリスト)



中村 匡寿



興津 諒



メンバー

**全席  
指定**

S席 5000円 A席 4000円 B席 3000円 U25 2500円

※S席、A席につきましてはチケットぴあ及びみなとみらいホールHPのみでのお取扱いとなります。

※B席及びU25チケットにつきましてはみなとみらいホールチケットセンターもしくはJTO事務局までお問い合わせ下さい。

【チケットぴあ】

(Pコード)280648

お問い合わせ先:

JTO事務局 080-5471-0762

みなとみらいホール 045-682-2000



## 東儀 秀樹 雅楽師 Hideki Togi

1959年東京生まれ。東儀家は、奈良時代から今日まで1300年間雅楽を世襲してきた家系である。

父の仕事の関係で幼少期を海外で過ごし、ロック、クラシック、ジャズ等あらゆるジャンルの音楽を吸収しながら成長した。高校卒業後、宮内庁楽部に入り、箏楽を主に、琵琶、鼓懸、歌、舞、チェロを担当。宮中儀式や皇居の雅楽演奏会などに出演するほか、海外公演にも参加、日本の伝統文化の紹介と国際親善の役割の一翼を担ってきた。その一方で、ピアノやシンセサイザーとともに雅楽の持ち味を生かした独自の曲の創作にも情熱を傾ける。1996年デビューアルバム「東儀秀樹」で脚光を浴び、以後次々アルバムをリリース。2000年「TOGISM2」で日本レコード大賞企画賞を受賞。その後9度にわたり、ゴールドディスク大賞 純邦楽・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞している。

2002年蜷川幸雄演出「オイディプス王」で舞台音楽を担当し、読売演劇大賞優秀スタッフ賞受賞。03年同監督作品「青の炎」（主演：二ノ宮和也）で映画音楽を手掛ける。2003年にモスクワ公演、カンボジアの世界遺産・アンコールワットにてコンサート。05年、サラブライトマンと共演。同年、イタリア・アッシジの世界遺産・聖フランチェスコ教会にて天台聲明とグレゴリアン聖歌隊と共演。2008年から始まった「世界遺産コンサート」として、ウズ

ベキスタン、韓国、ベトナム、トルコなど世界各地の世界遺産を舞台にコンサート。スペインサラゴサ万博、アメリカ、スイス、イタリアでも成功を取っている2001年NHKスペシャル「宇宙 未知への大紀行」の音楽担当、「メルセデスベンツ」、京セラ「CONTAX T3」、「リプトン・ザ・ティー」、「ロッテ グリーンガム」、「マクドナルド」、「黄桜 辛口一献」CM出演、曲担当。NHK大河ドラマ「篤姫」に孝明天皇役で出演、TBSドラマ「MR. BRAIN」には殺人犯役で出演と、ドラマの出演も相次いだ。また絵の才能を発揮し、絵本「光り降る音」「天つ風の音」「星月夜の音」（文・かんのゆうこ）では挿絵を担当。文化庁より芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。読売おおによし賞、古典の日文化基金賞特別賞受賞。東京藝術大学の講師、皇学館大学特別招聘教授、また名古屋音大、上野音大、池坊短大、大正大学、國學院大の客員教授を務める。著書に「すべてを否定しない生き方」（ロングセラーズ）「雅楽-僕の好奇心」（集英社新書）「東儀家の子育て才能があふれ出す35の理由」（講談社）など。最新アルバムはプログレッシブロックと雅楽の融合をさせた「NEO TOGISM」



## 平沢 匡朗 ピアノ Masaaki Hirasawa

横浜翠嵐高等学校、および桐朋学園大学卒業。福元さざれ、中山 靖子、渡邊 康雄、デートレフ・クラウスの各氏に師事。

GPAダブリン国際ピアノコンクール特別賞受賞。各地よりピアノ協奏曲のソリストとして招かれたほか、ダブリン、ウィーン、東京など国内外においてのピアノリサイタル、NHK-FM「FMリサイタル」などの放送出演など、独奏者として幅広く活動している。また、室内楽奏者としても、イヴリー・ギトリス、トーマス・フェオドロフカリン・アダム、マルタ・カーデムニミサク、水島 愛子（バイエルン放送交響楽団元奏者）、木野 雅之、天満 敦子、等のヴァイオリニスト、宮原 卓也、原田 茂生他多数の音楽家と共演。1996年より（Allegro Vivo・オーストリア国際室内楽音楽祭）に参加、22年にわたり音楽祭のコレパティトゥーア（公式伴奏者）として活動、多数のヨーロッパ若手演奏家と共演しており、その経験から得た独奏者として独自の解釈と視点による、モーツァルト、ベートーヴェン等ウィーン古典派音楽の演奏には定評がある。現在、愛知県立芸術大学講師、洗足学園音楽大学講師として後進の指導にもあたっている。「主な演奏歴」・1996年より（Allegro Vivo・オーストリア国際室内楽音楽祭）に参加、24年にわたり音楽祭のコレパティトゥーア（公式伴奏者）として活動。・2005年と2013年にモーツァルトのピアノソナタの全曲連続演奏会を2回開催。・2016年からは、横浜市神奈川区民文化センター（かなっくホール）におけるチャイム・レクチャーコンサートシリーズを始め、2016年度「モーツァルトの会」、2017年度「ショパンの会」、2018年度は「メンデルズゾーンの会」、2019年度「シューマンの会」、2020年度「ベートーヴェンの会」を監修、出演、好評を博す。「その他の活動」チェンバロ奏者として・2011年9月には日本フィルハーモニー交響楽団とバッハのブランデンブルク協奏曲第5番を演奏、2015年、18年、19年、20年にはバッハのゴルトベルク変奏曲全曲コンサート指揮者として2015年王子ホール、2017年東京文化会館でピアノ、指揮の2役によるモーツァルトのピアノ協奏曲の演奏会を開催。



## 中島 章博 指揮 Akihiro Nakajima

早稲田大学理工学部、東京大学大学院工学系研究科修士課程を経て同博士後期課程へ進学した後、2007年よりオーストリア共和国立ザルツブルク・モーツァルトウム大学指揮科に留学。2010年に帰国後、博士後期課程を修了し建築音響工学の分野で博士（工学）を取得。2016年、尾高忠明氏、Chung Chi-yong氏が講師を務めたMIN-ON Conductor's Seminar in KOREAにて優秀受講者に選抜され江南交響楽団を指揮。2019年、第2回CITTA' DI BRESCIA GIACCARLO FACCHINETTI指揮コンクールセミファイナリスト。

これまでに、チェコ国立モラヴィア・フィルハーモニー管弦楽団、リトアニア・カウナス交響楽団、タリン・シンフォニエッタ、ブルガリア・クラシックFMオーケストラ、オーストリア現代音楽アンサンブル等を指揮。マレーシアでは2006年より2012年にかけて定期的に演奏会を行い、エストニア共和国では2013年、エストニア・タリン国際オルガンフェスティバルのオープニングコンサートにてグラスパーレンジュビール・シンフォニエッタを指揮し、その模様は現地ラジオ局により生放送された。また、業界界との共演も多く、2015年、TBSテレビ「マツコの知らない世界」にてオーケストラのパーカッション奏者として加わったマツコ・デラックス氏との共演や、2023年にはお笑い芸人「メンバー」のオーケストラ演奏付きライブに出演するなど、幅広い活動を行っている。近年は作曲・編曲活動にも力を入れており、群馬テレビ制作のアニメーション「戦隊ヒーローズキヤキフォース」の音楽を担当したほか、ベネッセコーポレーションの教材付録DVDや、はごろもフーズのウェブCMにも楽曲提供を行った。編曲作品では、2021年にサントリーホールにてズラシアンフィルハーモニー管弦楽団の演奏により狂詩曲「おさるのかごや」が演奏され、好評を博し2022年にも再演、2024年にはライブ演奏のDVDが販売されている。また2024年は、仙台フィルハーモニー管弦楽団の演奏にて森口博子氏が歌った「スピード」、オーケストラプレゼンター東京の演奏にて小林幸子氏が歌った故八代亜紀氏の楽曲「花束（ブーケ）」などのオーケストラアレンジを担当している。指揮を故クルト・レーデル、デニス・ラッセル・デイヴィス、ホルヘ・ロッター、曾我大介、シメオン・ピロンコフの各氏に、フルートを湯川和雄、岩佐和弘の両氏に師事。2021年度ズラシアンブラスお友達プレイヤー（指揮）。



## 石田 泰尚 ヴァイオリン Yasunao Ishida

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来「神奈川フィルの顔」となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。

これまでに神奈川文化賞未栄賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から30年参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした弦楽アンサンブル「石田組」など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2018年には石田組がNHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送されるその熱いステージの模様は大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「らららクラシック」で特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスターを兼任。2022年に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ!」を刊行。5月〜9月にかけてミューザ川崎シンフォニーホールにて無伴奏から協奏曲まで様々な編成で演奏する「石田泰尚スペシャル 熱狂の夜」を開催。2024年は「石田泰尚スペシャル 熱狂の夜 第2章」、11月10日に石田組で日本武道館公演が予定されている。最新アルバムは2024年4月にリリースされた「石田組 結成10周年記念 2024・春」。使用楽器は1690年製G.Tononi、1726年製M.Goffriller。



Tadachika Nakamura  
中村 匡寿

1986年東京都生まれ。桐朋学園大学作曲科研究科修了。第86回日本音楽コンクール作曲部門第3位、第9回日本作曲家協議会(JFC)作曲賞、第36回現存作曲新人賞入選 21世紀の吹奏楽第21回「響宴」選出、その他受賞多数。作品は室内楽からオーケストラ、吹奏楽と多岐に渡り、取り分け近年は日本の伝統楽器を扱った精力的な創作が目立っている。これまでに多くの個人や団体から作品が委嘱、初演され、作品の一部は「レーン」出版、CAFUAレコード、ウィンズスコア等から出版されている。ウィーン国立音楽大学でクラリネットのディプロマを取得。これまでにクラリネットと室内楽を木村健雄、飯沼浩一、Kurt Schmidの各氏に、作曲を鈴木明氏に師事。



Ryo Ohtsu  
興津 諒

洗足学園音楽大学卒業。桐朋学園大学研究科修了。フガットを石井淳、岡本正之、河村幹子、深山智哉の各氏に師事。世界的奏者のマスタークラスを多数受講。国内主要オーケストラ、吹奏楽団への客演やレコーディングでの演奏の他、作曲家、プロデューサーとしても注目を集めている。カタルフィルム（カタル国直属のオーケストラ）のフガット奏者小山佳子氏からの委嘱による室内楽作品「四重奏曲 暗然と光明」が来年初演予定。クライス音楽事務所 執行役員。2021年より全日本吹奏楽コンクール及びアンサンブルコンテスト審査員（県央地区）も務めている。代表作品：・広島よしもとお笑いコンビ「メンバー」などのタグ作品「メンバーズコンサート」(Youtube240万回再生突破:2024.9現在)・リバーサルオーケストラ(高階フィルム)・ディズニー公式 スターウォーズ ロールアップアニメ など



吉本興業広島所属  
ナビゲーター  
お笑い芸人  
メンバー

2018年MBS歌ネタ王決定戦 優勝。歌ネタ「しりとり」が大バズりし、840万回再生を突破。(2024年9月現在)2023年1月30日に開催されたメンバーとオーケストラのタグステージ「Member's Concert〜メンバーがオーケストラの生演奏で歌ネタをやるライブ〜」でも大反響を呼んだ。最近ではお笑いの本場、なんばグランド花月(NGK)での本公演出演並びにメンバーをメインに据えた公演も大好評を博している。RCC イマナマ!・NHKラジオ ひろしまコイラジ・RCCラジオメンバーのゆるりリズム 等のレギュラー番組の他に「RCCラジオ シュタインのひな団圓」をはじめとした広島番組出演に留まらず「TBS ラヴィット!」「日テレ 有吉の壁」など全国へと出演の幅を広げている。インターネットラジオ「メンバーの部屋ラジオ」、Youtubeチャンネル「メンバーチャンネル」など独自発信のコンテンツからも日々発信している。

